

## 先人、先達の尊い 営みがあってこそ

第2回

# 杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



ふるさと飯館村の「味わい」を愛し、楽しむ「愛楽故郷味（あいらくふるさとみ）」。

8月15日。太平洋戦争の終戦から77年を迎えました。

『「千万（ちよろず）の命の上に築かれし平けき世を生くる悲しさ」この句を深く味わう夏が過ぎ、もう9月。収穫の恵みに喜ぶ長月となります。おかげ様と気付かされるほどに「せめてもの」の心と日々を大切にしたいと思えます。』と昨年9月号巻末に掲載してから早1年。一日一日の大切さを感じる中、8月23日には3年に一度の飯館村戦没者追悼式を執り行い、8月25日には村で41人目となる100歳をお慶び申し上げます。

百寿をお迎えになられたとは思えぬ嬰鏢（かくしゃく）としたお姿で、終始ご起立のまま賀寿や記念品を受け取られ「生死紙」の経験が今につながっています」とのお言葉に、その時代、時代の苦難を懸命に力強く乗り越えてきた方々の営みあってこそ、このふるさと飯館村であったと、目頭を熱く致しました。

最近、「わくわく」と言うキーワードを方々で聞くようになりました。「待ち遠しく感じるものを見つけると」「『健やかさ』から生まれず。村でも県立医大や村医師との連携、つながりや地域サロンでの介護予防活動などさらに力を入れていきます。

## ひとのうごき

### 結婚おめでとう

氏名	出身地
草野 健太郎さん	飯樋町
高畑 智香さん	白河市

HAPPY WEDDING!

### 誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
みなと 鳴原 誠夏音くん	駿輔・楓恋	長泥

### おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 フクエさん	85	前田
永澤 清二さん	75	飯樋町
高野 タカ子さん	93	前田・八和木
石黒 金七さん	83	八木沢・芦原
本田 八郎さん	75	草野

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき 令和4年7月31日現在	
人口 今月（前月比）	7月1日～31日までの人口動態
●男 2,468人(-3)	転入 13人
●女 2,450人(+4)	転出 6人
計 4,918人(+1)	出生 1人
世帯数 1,811戸(-1)	死亡 7人
	(住民基本台帳人口)

(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へ申し出てください。

## ふるさと資源 発掘図鑑!



### # 多彩な企画の交流会

村内外で毎月さまざまな交流会を開催している『いいたてネットワーク』（横山秀人代表／前田・八和木）。8月に開催したポッチャ・ヨガ・生葉藍染め交流会は、久しぶりに会う顔ぶれに会話が弾み、終始笑いが絶えなかったそう。「来年3月まで、楽しい交流会をたくさん企画しています」と横山さん。皆さんもぜひ参加してみてください。

仲間と楽しく「生葉藍染め」を体験。

## 皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)

☎0244-42-1613

ゴンボツパ栽培の指南役として希望の里学園にも協力



### # 農地に故郷を重ねて

震災の年に、福島市荒井の休耕地を仲間と開墾し、農作業を通じた交流、村民支援に力を入れていた菅野哲さん(草野)。その地に居を構え、開墾地を生かして農業を続けています。当時の仲間とは今も畑で交流しているそう。「村で見えてきた先輩方の農業を手本に実践しているつもりです」。

自宅横のハウスで。どの作物も力強い。

村民広報委員  
ふじおさんの



### いいたて 宝さがし 第2回

### 「あ〜ら先生!」〜102歳の宝〜

過日、広報紙に載せるためのインタビューをしたいと連絡したら、突然、孫たちと総勢7人で、荒二子先生が我が家を訪ねて来てくれました。



現在102歳で、今は娘さんたちと仙台で、趣味の手芸などをして楽しく暮らしていると言います。少し耳は遠くなったと言いつつ、とても元気で口調もなめらか、昔の先生のままに感じられました。子ども3人、孫10人、ひこ13人。飯館での教員生活は33年。

当時、小学校の校庭には太い銀杏の木が2本あって、運動会ではその周りを走ったとか、松島への修学旅行の時は、米を持参して行かなければならなかったとか、そして教え子には80歳になる人たちがいると言います。懐かしく当時のことを語っていただきました。

またこんなエピソードも。皆で歌を歌う時に音痴な子どもには、「あんたは口だけ開けていればいい!」そんなこともあったと話してくれました。音痴な私にはとても優しい言葉に聞こえました。

尽きない話題の最後に、「飯館村はふるさと! 教え子はいつまでも宝!」と語ってくれました。私たちが、「飯館村はふるさと! 教えられた私たちもずっと宝!」でありたいと思っています。

